

平成25年度 越美山系砂防事務所安全協議会を開催

事務所が発注する工事や業務の安全衛生思想の高揚と啓発を図り、もって労働災害を防止し、工事や業務に安全に推進することを目的に、事務所職員及び工事や業務を受注する各社の現場従事者など、総勢54名の出席により安全協議会が11月25日(月)に開催されました。

八草川山腹工事が最優秀賞を受賞

安全協議会では、岐阜労働局 大垣労働基準監督署の安江安全衛生課長をお招きして、「労働災害の防止について」と題して講話していただき、安全意識の向上に向けた決意を新たにしました。

また、工事や調査等を行う技術者より、現場での安全施工技術や、現場で働く作業員等の安全意識向上のための取り組みについて、「安全施工技術に関する研究発表会」として発表が行われました。各発表とも現場条件に合致させた安全対策や、安全に対する独自の創意工夫などが報告され、八草川(はっそうがわ)山腹工事を施工する(株)久保田工務店の高木さんの発表内容が、工事安全対策の向上に優れおり、他の見本となるとして最優秀賞を受賞されました。



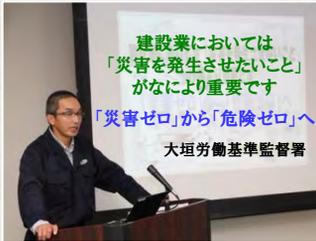
最優秀賞

(株)久保田工務店 高木 誠治さん (右から2人目)

優秀賞

田中建設工業(株) 山口 タケルさん (左端)

(株)山辰組 棚橋 伸仁さん (右端)



大垣労働基準監督署
安江課長による講話



研究発表会の様子

大規模災害発生時の業務継続を目指して

11月29日(金)に気象庁が行った緊急地震速報訓練に合わせて、震度6弱の地震が発生し職員・庁舎及びライフライン等の必要な資源に制約がある状況を想定した、災害時の初動訓練を行いました。

今回の訓練で確認された問題点等を、事務所の事業継続計画の改訂に反映させ、大規模災害時にも業務継続が可能な体制の一層の強化を目指します。

過去の災害と対策の重要性を痛感

11月29日(金)、過去に揖斐川上流域で発生した災害と砂防施設の視察を目的として、新川・五条川改修促進期成同盟会(愛知県)の29名が来所されました。大塚副所長から平成18年災害・東横山地すべり及び平成20年災害・西濃豪雨についての説明を聴講された後、その対策を実施した東横山地すべり地及び下谷第1砂防堰堤を視察されました。

同盟会の方からは「対策の重要性を痛感した。参考になりました。」との感想をいただきました。



下谷第1砂防堰堤視察の様様

揖斐川中学生が砂防堰堤の役割を学ぶ

11月27日(水)、揖斐川町立揖斐中学校1年生の29名が、総合的な学習の時間を利用して、砂防堰堤の役割などについて学ぶため、当事務所へ来所されました。

大塚副所長を講師とする座学と、調査課浅野主任による事務所1階に展示された模型を使った説明により、砂防堰堤の役割や揖斐川上流域の土砂災害の歴史等を学んでいただきました。生徒さんは「砂防堰堤作るときに一番大変なことは何ですか?」と質問したり、模型を実際に操作したりして、熱心に学んでいる様子でした。



生徒さんからの質問を受ける
大塚副所長



模型を操作して砂防堰堤の
役割を学ぶ生徒さん

事務所周辺は深秋の紅葉

事務所の裏山が、紅葉で色取り取りとなっていました。盛りはもう過ぎ去りますが、大変に綺麗でした。

事務所管内では既に降雪が確認されており、冬の到来が近いことを考えると、一層、鮮やかな景色に思えます。



事務所裏山の紅葉(11月29日撮影)

越美山系の山々は、紅葉の時期も過ぎ冬枯れの季節を迎えました。山の頂を覆う白さも、日ごとに工事現場へ迫ってきており、標高の高い現場では11月末に積雪を観測しました。当出張所管内には12月に工期を迎える工事が5本あり、各現場とも空模様を気にしながら、完成に向け最後の仕上げを行っています。

通行止めで工事に影響 =越波谷=

本巢市根尾越波(ねおおっぱ)地先で工事を進める越波谷第3砂防堰堤資材運搬道路工事(施工:杉山建設(株))は、計画を越える土砂が堆積し調節効果が著しく低下した本堰堤の除石を行うため、資材運搬道路を設置する工事行っており、今年度予定した工事が完了しました。工事現場は山深い箇所、現場へ資機材を運ぶ林道が、途中他所が行う工事により、迂回路も無いまま通行止めとなり、資機材の確保など大変苦労した現場でした。



曇りが降るのなか出来形を確認

当現場は冬期雪深い箇所のため、工事は一端完了し、来春より引き続き資材運搬道路の設置及び除石工を行っています。

現場技術者の声

越波谷工事は、補強土壁工が主の工事であり、盛土材の運搬における安全対策が懸念されました。上大須地先から現場までは約10kmあり、折越林道を運行する際、地元車両・一般車両・他工事の工事車両との交通事故が発生する恐れがあった為、往復路に待避所を設け、看板を設置することで、安全に運行することが出来ました。現場に於いては、作業スペースが狭い箇所での施工でしたが、工夫して有効利用することにより、無事故で工事を終えることが出来ました。



現場代理人
杉山建設(株)
中島 義裕さん

地道にコツコツと =緊急作業=

揖斐川砂防出張所管内緊急作業(施工:揖斐昭和建设(株))は、豪雨等により被災した砂防施設等の緊急的な復旧や小規模な作業を行っています。

揖斐川町坂内川上(さかうちかわかみ)地先に設置してある中又谷(なかまたたに)第2砂防堰堤(堤高 H=26.0m)の施設点検時に、施設を乗り越えるためのステップを設置しています。この堰堤は急峻な地形の溪底にあり、資材を運搬する道も無いため、資機材は全て作業員が背負って現場に向かっていきます。緊急作業はこの様な地道な作業を行っています。



資機材を背負い
急斜面を降りて現場へ



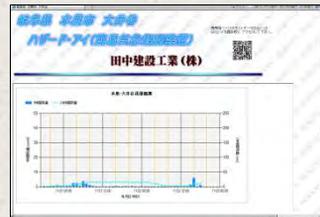
安全に点検が行えるよう
ステップを設置

工事現場をHPで紹介 =大井谷=

本巢市根尾大井(ねおおい)地先で工事を進める大井谷第1砂防堰堤流木対策工事(施工:田中建設工業(株))の現場は土石流の流下区間で、土石流発生時に作業員が土石流に巻き込まれないように、工事区間の上流に土石流センターを設置したり、現場に簡易気象観測装置を設置して警戒に当たっています。大井谷の現場では、工事の概要や進捗状況をお知らせする現場独自のホームページを開設しており、簡易気象観測装置で観測した気象情報もリアルタイムで確認することができます。一度覗いてみてください。



現場紹介ホームページ



公開されている雨量情報

大井谷現場紹介ホームページはココをクリック (外部リンク)

安全利用に向けて =坂内護岸=

揖斐川町坂内広瀬(さかうちひろせ)地先の坂内砂防堰堤は、坂内川本川に設置された砂防堰堤で、周辺は夏場にアユ釣りのメッカとなります。そのため「魚にやさしい川づくり」として、平成7年に階段魚道が設置されました。また、堰堤左岸上流部は利用スペースとして整備されています。近年、利用スペースの河岸が浸食等により不安全な状態になりましたので、現在護岸工を施工しています(施工:株久保田工務店)。来春からは安全に利用していただくことができます。



坂内砂防堰堤と魚道
堰堤上流で護岸工施工中

工事を再開します =琴谷=

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先で工事を進める揖斐川流木対策工事【琴谷(ことたに)工区】(施工:株ヤマモト)は、8月下旬より工事を一時中止していましたが、工事の施工方法等の調整が整ったため、12月から工事を再開しました。よろしくお祈りします。



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel:0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp